

家庭と国語 『高齢者の尊厳』

日時 令和元年11月13日(水) 第6校時
場所 被服室
対象 福井県立武生高等学校 普通科 1年2組
指導者 家庭 角正 康弘
国語 辻崎 千尋

1. 単元名 高齢社会を生きる
小単元「高齢者の尊厳を考える」 『家庭基礎 自立・共生・創造』(東京書籍)

2. 題材について

人が生まれてから死ぬまでにたどるライフコースは、社会の変化とともに大きく変わってきた。寿命が短かった昔には、高齢期は社会人としての仕事を成し遂げた後の予定と位置づけられたが、現在では「人生90年」も普通となり、高齢期が25年以上にわたることも多い。この長い高齢期を充実して過ごすためには、高齢者の心身の特徴、生活課題、社会の制度等をよく理解し、それに備えていく必要がある。今後、戦後のベビーブーム世代が高齢者の仲間入りをして高齢化がさらに進み、後期高齢者が増大していく。現代の高校生は、このような社会を仲間として担うことが期待されている。また、いずれ来る自分の高齢期を意識させることで、高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について気づかせていきたい。

生徒は高齢者へネガティブなイメージを持っている生徒が多く、いずれ自分も高齢期を迎えるという意識が低い。本授業では、ロールプレイングを通して自己の尊厳について気づかせることで、高齢者が自立した生活ができなくなっても、人間として尊ばれることや、それを支えるために自立生活の支援や介護が必要であることを理解できるようにしたい。自己決定や主体的に自分らしく生きる視点の高齢期でも大切であるという考えを示しながら授業組み立てていきたい。

3. 生徒について

男子19名、女子17名、計36名の普通科クラスである。活発なクラスで、発問に対して積極的に発言をする生徒が多い。

4. 本時の目的

高齢者が自立した生活ができなくなっても、一人の人間として尊重されるべき存在であることに気づく。自分もいずれ高齢者の立場になることを意識し、高齢者の尊厳を守るために自立生活の支援や介護が必要であることを理解できるようにする。

5. 本時の展開

段階	学習内容と活動	指導上の留意点	評価
導入 10分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">「高齢者」のイメージについて考えよう</div> 問いに対して考え、Classiに入力する。	○テキストマイニング (https://textmining.userlocal.jp/) による解析を行い。高齢者のイメージについてまとめ、可視化する。 ○教師側の「古い」についての会話 自分心身の変化・家族の話	ア
展開 20分	【班でロールプレイング】 高齢者の行動についてどのような言葉がけをするか。(ひどい言葉がけ・やさしい言葉がけで考える)	○「家族の古い」に対し下記3例に対して、どのような言葉がけをするか考えさせる。 1. スムーズに歩けなくなった高齢者	イ

	<p>役割：①優しい言葉がけをする人 ②ひどい言葉がけをする人 ③高齢者 ④メモ</p> <p>3分×3回 1例ごとに役割を変えて行っていく。</p> <p>【全体共有】 3つの班が、全体でロールプレイする</p>	<p>が、失禁をした。</p> <p>2. 寝たきりになった、高齢者が私の名前を、違う人の名前で呼ぶようになった。</p> <p>3. 認知症になった高齢者が、深夜徘徊をした。 (今回で3度目)</p>	
<p>まとめ 分</p>	<p>ロールプレイをとおして、これから、高齢者にどう接していきたいか</p> <p>問いに対して考え、Classi に入力する。</p> <p>次回、国語の授業内容の告知 (時間があれば取り組ませる)</p>	<p>○テキストマイニング (https://textmining.userlocal.jp/) による解析を行い。結果をまとめていく。</p>	<p>ア</p>

* 【評価方法】 ア…生徒の Classi の入力内容 イ…生徒の活動の様子 (ワークシート作成)

6. 反省

7. ご高評